

論文 / 著書情報  
Article / Book Information

論題(和文)	ICOM Milano 2016 参加報告
Title(English)	Report on the ICOM Milano 2016, 24th General Conference
著者(和文)	阿児 雄之, 嘉村 哲郎, 小林 美貴
Authors(English)	Takayuki Ako
出典(和文)	第9回秋季研究集会発表要旨, , ,
Citation(English)	, , ,
発行日 / Pub. date	2016, 11

# ICOM Milano 2016 参加報告

Report on the ICOM Milano 2016, 24th General Conference

阿見 雄之・嘉村 哲郎・小林 美貴\*

Resume:

ICOM Milano 2016 が、2016 年 7 月 4～9 日の日程で開催された。本大会は 3 年に 1 度開催される General Conference であり、世界各国から多彩な分野にて活躍する博物館関係者、約 3,500 名が参加した大規模なものであった。報告者らが参加した CIDOC Session、各種イベントなど大会の様子を報告する。

## 1. はじめに

ICOM (International Council of Museum) は、172 の国と地域、35,000 人の博物館関係者、20,000 の博物館が参加している、博物館・美術館に関する国際的機関である<sup>1</sup>。第 24 回大会が 2016 年 7 月 4～9 日の日程で、イタリア・ミラノで開催された。参加者が 3,433 名にのぼる大規模な会議のため、報告者らが参加したセッションは、ごく一部である。ICOM の公式ウェブサイトにダイジェスト映像がまとめられているので、本報告とあわせてご覧いただきたい<sup>2</sup>。

## 2. CIDOC Session

ICOM には 30 にのぼる International Committee が存在する。各 committee がセッションを企画し、大会期間中は数多くのセッションが同時並行で開催された。報告者らが主に参加した CIDOC<sup>3</sup> は、Documentation に関する committee であり、CIDOC だけでも同時に最大 3 つのセッションが開催されるというテーマの多岐性には驚くばかりであった。

### 2.1 CIDOC CRM

CIDOC CRM<sup>4</sup> は、収藏品情報 (名称、法量、来歴など) や学芸・研究・教育普及活動などイベントを記述する際の概念参照モデルのひとつである。嘉村が参加したこのセッションでは、昨年からの活動報告と CIDOC CRM を使用した研究事例の紹介があった。

活動報告では、データモデルに関連して FRBRoo<sup>5</sup> の拡張とこれを利用した音楽ドキュメンテーション (DOREMUS<sup>6</sup>) との協働、CRM の活用推進では、CIDOC CRM を用いた資料記述システム WissKI<sup>7</sup>、データマッピングツール 3M:Mapping Memory Manager<sup>8</sup> のシステム紹介があった。WissKI については、システムを使用して硬貨データベースを構築したドイツのエアランゲン=ニュルンベルク大学のプロジェクトが取り上げられた。



写真 1 CIDOC セッション風景 (報告者撮影)

### 2.2 Off-site Meeting

大会 4 日目は各 committee が活動に関連した機関等と連携し企画するオフサイト・ミーティングが設定されていた。小林が参加した CIDOC オフサイト・ミーティングは、今年のテーマを「ドキュメンテーションは姿勢であり、それには協力が不可欠である (Documentation is an attitude, cooperation vital)」とし、主会場のミラノから西へ 150km、バス 1 時間半程離れたトリノに会場を移して開催された。

トリノ大学講堂では総勢 100 名程の参加者がトリノ市文化局員、大学部長、市観光局に温かく迎えられ、CIDOC メンバーの Jonathan Whitson-Cloud 氏による「ドキュメンテーションとは何か? (What is Documentation?)」と題したプレゼンテーションに始まり、3 つのグループに分かれて MLA 連携に関する情報共有と討議のワークショップ、施設見学会というプログラムに参加した<sup>9</sup>。

ワークショップでは、スウェーデンにおける MAB 連携 (= Museum, Archive, Bibliotek (Library) 連携。MLA 連携) の事例が紹介され、その後 CIDOC トリノと参加者による意見交換を行った。また、見学会は「トリノ王立図書館 (Biblioteca Reale di Torino)」と「トリノ国立文書館 (Archivio di Stato)」を訪れ、それぞれの機関にて MLA の機能的側面について解説を受けた。

オフサイト・ミーティングを通じ、MLA 連携について、各国が共通して目録情報の一体化・横断化を課題と考え、MLA

\* あこたかゆき (東京工業大学博物館)、かむら てつろう (東京藝術大学)、こばやし みき

従事者同士の情報共有が重要な解決策であると認識していることを確認した。ドキュメンテーションの国際標準についても、多様な文化・社会的背景をもつ組織・従事者が対面し、情報共有・意見交換を行うプロセスが重要であり、国際会議への参加は非常に意義深い。

### 3. Keynote Speech and Social Events

大会期間中の午前中を中心にキーノート・スピーチが開催された。講演者は世界の第一線で活躍する芸術家(CHRISTO/USA)、建築家(MICHELE DE LUCCHI/Italy)、小説家(ORHAN PAMUK/Turkey)などであり、博物館で研究・勤務している人々に限っていないことが素晴らしかった。そして、ミラノという開催地に関連したテーマをもった講演が多く、会場も多くの参加者で溢れていた。

夜からは毎日 Social Event が用意されていた。スフォルツェスコ城でのオープニングパーティー、ドゥオーモでのコンサートなどミラノに点在する文化遺産や美術館などを会場にして特別な催しが目白押しであった。季節的に夜の9時ぐらまで日が落ちず、時間の感覚が麻痺してしまうほど刺激的な時間ばかりだった。

そして、同時に多くの博物館・美術館が ICOM 参加者向けに夜間延長開館をおこなったりしていた。単なる国際会議ではなく、ミラノがもつ文化すべてを体感できる仕組みになっていた。



写真2 ドゥオーモ コンサート (報告者撮影)

### 4 ICOM Kyoto 2019

最終日の Closing Party にて、次の開催地である京都へ ICOM 旗の引き継ぎがあり、日本側からは参加案内として京都の魅力が伝えられた。京都大会は、“Museums as Cultural Hubs: The Future of Tradition”をテーマに掲げ、2019年9月に開催が予定されている。オリンピックの前年に、文化を担う博物館・美術館関係者が世界から一堂に会する機会である。

これまで報告してきたように、大会中は研究セッション以外

にも、地域の文化機関が一体となって様々なイベントを開催する。本報告を通じて ICOM Conference に興味を持ち、2019年には日本からも多くの参加があることを期待している。

### 註

1. ICOM, <http://icom.museum> (参照 2016-09-20)
2. ICOM, “ICOM Milano General Conference 2016 and the video”, <http://icom.museum/news/news/article/icom-milano-general-conference-2016-and-the-video/> (参照 2016-09-20)
3. CIDOC International Committee, <http://network.icom.museum/cidoc> (参照 2016-09-20)
4. CIDOC, “CIDOC CRM”, <http://www.cidoc-crm.org> (参照 2016-09-20)
5. CIDOC, “FRBRoo”, [http://www.cidoc-crm.org/frbr\\_inro.html](http://www.cidoc-crm.org/frbr_inro.html) (参照 2016-09-20)
6. Dremus, “Doing Reusable Musical data”, <http://www.doremus.org/> (参照 2016-09-20)
7. Wissenschaftliche Kommunikationsinfrastruktur, “WissKI”, <http://wiss-ki.eu/> (参照 2016-09-20)
8. Research Space, “The 3M system”, <http://www.researchspace.org/home/mapping> (参照 2016-09-20)
9. CIDOC, “Off-site meeting in Torino, Italy.”, [http://network.icom.museum/fileadmin/user\\_upload/minisites/cidoc/elections\\_2016/OFF\\_site\\_meetingCIDOC2016-06-02.pdf](http://network.icom.museum/fileadmin/user_upload/minisites/cidoc/elections_2016/OFF_site_meetingCIDOC2016-06-02.pdf) (参照 2016-09-20)